

オイル塗料とウレタン塗料の融合！

NA-6 オリオ2

F☆☆☆☆ (ホルムアルデヒド放散規制対象外)

一般社団法人日本塗料工業会自主管理登録 登録番号：K03090

特長

- オイルフィニッシュの質感を維持しながら、
塗膜性能が飛躍的にアップ！！
 - ・ **オイル塗料**…木材の濡れ色が最大限に引き出され、ナチュラルな表現が可能
 - ・ **ウレタン塗料**…塗装した塗料が乾燥・硬化する事により、優れた保護性能を発揮
- 二種類の塗料をブレンドすることで、
お互いの長所を両立させました

- 安心の安全性
 - ・ NA-6 オリオ2 の乾燥塗膜からは、鉛や重金属などの溶出がありません。
(財団法人日本食品分析センター試験結果)
 - ・ NA-6 オリオ2 の付着した布からは、多くの自然系塗料で見られる自然発火がおこりません。

用途

木部内装 (家具・建具・床・壁)、無垢材テーブル、チェア、キャビネット、木製食器、箸のオイルフィニッシュ



東京都C社 チェスナット材テーブル NA-6オリオ2仕上げ



CPC キャピタルペイント株式会社

塗膜の性能比較

	NA-6オリオ2	ウレタン塗料	自然系塗料
水の影響	○影響なし	○影響なし	×跡が残る
汚れの落ち易さ	○付き難く落ち易い	○付き難く落ち易い	×拭取っても跡が残る
オイル感	○オイル感あり	×オイル感は乏しい	○オイル感あり
におい	○においは無い	○においは無い	×油のにおいが長期あり
長持ち度	○明らかに劣るが変化少	○変化しない	×時間と共に無くなる

塗料の種類

- ・ NA - 6オリオ2 A液（植物由来の油が主成分）
- ・ NA - 6オリオ2 B液（ポリウレタン樹脂硬化剤）
- ・ NA - 6オリオ2 専用希釈剤（化粧品にも使用できる無臭の薄め液）
- ・ NA - 6オリオ2 専用リターダー（高温時の希釈や広面積塗装に使用）

塗料の配合比

A液（主剤）：B液（硬化剤）：専用希釈剤（薄め液）
100 : 50 : 0～50

塗装方法

塗装工程	塗装方法	乾燥時間・使用量
下地処理	素地研磨サンドペーパー#180～#240	
一回目の塗装	調合した塗料を刷毛塗り後、布にて拭き取り	一晚 20℃・50g/m ²
中間研磨	サンドペーパー#320～#400	
二回目の塗装	調合した塗料を刷毛塗り後、布にて拭き取り	一晚 20℃・50g/m ²

使用上の注意事項

- ・ 所定の配合比を守ってご使用ください。また、一度調合された塗料は5時間(25℃)で使用できなくなります。(塗料が増粘します) 一度に使用する量だけ調合してください。
- ・ NA - 6オリオ2専用希釈剤を混合時に白濁する事がありますが、よく混ぜると透明に戻ります。
- ・ 乾燥の速い温度条件や塗布面積によっては、NA - 6オリオ2専用希釈剤量の増減もしくは、NA - 6オリオ2専用リターダー（乾燥遅延剤）を混合してください。
- ・ 塗料を拭き取った布からの自然発火はありませんが、塗装作業時は必ず火気を避けて、換気を十分におこなってください。
- ・ 塗装作業後の刷毛や容器などの洗浄には 洗浄用溶剤（ウレタンシンナー）をご使用ください。

キャピタルペイント株式会社

〒569-0054 大阪府高槻市若松町 8-10
Tel : 072-672-7330 / Fax : 072-672-7336

(一社) 日本塗料工業会正会員・Coatings Care®宣言会社
林野庁が展開する木づかい運動/ウッド・チェンジに賛同します

Homepage : <https://www.capitalpaint.jp/>
E-mail : info@capitalpaint.jp